

議会報告 さかい通信 2011 秋号

— 議会のあり方とは？ = 議会の改革への取り組み = —

千葉市議会では、地方分権などの進展を背景に「市民に開かれた議会」を目指し、これまでに「政治倫理に関する条例」の制定をはじめ、議会質問における「(傍聴者が分かりやすい)一問一答方式」の導入や常任委員会の傍聴を可能とした他、請願・陳情の提出者の意見陳述の機会を設けるなど、様々な取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、依然として「議会で何が決まっているのか?」「議員が何をしているのか見えない」といった声を耳にします。そこで、より一層市民に開かれた議会を目指し議会改革を更に進めるために、4月の改選(統一選)を機に、議会内に「議会のあり方検討協議会」を設置致しました。(各会派代表16名により構成されております。)



「議会のあり方」検討協議会の経過報告会の模様

6月10日に第一回目、以降これまでに計6回の検討協議会が開催されました。「議会の基本理念」「議員の果たす役割」「開かれた議会」「議会の機能強化」「議員の資質向上」等様々な議論が行われた結果、「議会の基本理念」について意見の一致が図られ、9月28日に改めて全議員が集い経過報告会が行われました。

今後は、議会の情報発信や市民参加のあり方、監視機能や政策提言、議員定数や報酬、政務調査費制度のあり方等の具体的「議会報告会」で議論が進められる予定です。



議員報酬の見直しは…? これまでに以下の見直しが行われております。

1. 議員報酬を平成19年5月から5%削減、平成22年4月から更に5%削減。
 2. 政務調査費の透明性を図るため、平成20年度より1円以上全ての領収書を添付、公開。平成22年4月から10%削減。
 3. 本議会や常任委員会などに出席した場合に支給されていた費用弁償を平成20年度に全廃。
- ※今後の「議会のあり方」検討協議会で議員の身分についても協議されます。

放射線測定 全小学校、保育所等で実施へ

千葉市では、6月に小学校、保育所、幼稚園の18カ所で空間放射線量率の測定を行い、8月と9月には時間的変化を確認するため、そのうち6カ所で調査をしてまいりました。しかしながら、不安を訴える市民からの陳情が議会において全会一致で可決したことを受け、今般以下の通り調査を実施することとなりました。

- 測定場所 市立小学校(119カ所)、保育所(109カ所)、幼稚園(92カ所)、公園(250カ所)等
- 開始時期 平成23年10月11日(火)～ 年内目処
- 結果公表 測定日の翌週に市ホームページに掲載

その他、給食食材のスクリーニング検査(毎週12検体を予定)、給食食材産地の公表についても、全ての市立小・中・特別支援学校、保育所を対象に実施致します。



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

酒井 伸二

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

Tel/Fax.043-268-7120

http://chibashi.com e-mail:sakai@chibashi.com



—— 動き出した千葉市! =今年度からの新たな取り組み= ——

行政施策の改善や新たな提案の場である議会質問。これまでに行ってきた議会質問等を通じて、年々新たな取り組みが開始されております。今回の議会(9月6日～10月4日)では、過去最高人数の議員が一般質問を行いました。市民の皆さまからの様々なご意見・ご要望、それらをどのように実現をしていくのか?他都市の先進的な取り組みを調査・研究しながら、今後とも施策提案に全力を尽くしてまいります!

環境経営応援資金

環境保全に取り組む企業に、金融機関を通じて優遇金利で融資する事業。環境対策に前向きな市内企業を支援するため、今年度の新規融資メニューとして創設されました。

市と「市地球環境保全協定」を締結し、省エネ目標などを設定した計画書を提出することや、ISO14000シリーズなどの環境関連規格の認証を受けることなどが利用条件で、設備資金のみならず運転資金でも活用できることが特徴です。震災で省エネ意識が高まったこともあり、多く利用申請がなされております。



©NEW KOMETO

千葉港 工場夜景クルーズ

全国でも最大面積を誇り、貨物取扱量でも全国2位と言われる千葉港。この千葉港を起点とした観光振興の一環として、年度内を目処に「工場夜景クルーズ」運行実験に取り組みます。

工場群については、景観上マイナスと見られがちですが、工場夜景の見学については、数年前より川崎市の京浜工業地帯などで静かなブームとなっており、外部からの集客が期待できます。

9月末の企画提案コンペの結果、同工業地帯でツアー運航の実績のある横浜市の「ケーエムシーコーポレーション」が選定されました。今後の展開に注目です!



JFEスチール東日本製鉄所の夜景

地域支え合い体制づくり事業

昨夏に生じた高齢者の所在不明問題や、年々増加する「孤独死」など、「無縁社会」が広がりつつあります。こうした状況に対応するため、地域の絆を深め見守り機能を強化するなど、支え合いの体制づくりが求められております。

そこで、支え合い活動の立ち上げや活動拠点の整備、人材の育成に取り組む団体に費用の一部を助成する事業を案内したところ、予想外ともいえる多くの団体から申請がありました。

【対象団体及び事業数】 54団体 81事業

	対象団体	団体数	事業数
①	自治会	23	31
②	社会福祉協議会地区部会	11	18
③	NPO法人	10	17
④	その他	10	12
⑤	市	—	3
	計	54	81

皆様の声を形に!

減速喚起の路面表記と街灯の設置

宮崎二丁目9～10番地先の坂道は、下り車両による事故が多く、夜間は街灯も少なかったことから、近隣の住民の皆さまから改善を求める声があがっておりました。

地域の自治会長と連携し、当局に改善を要望したところ今般、「速度落とせ」の路面表記とともに、新たに街灯が設置されました。

地域の安全・安心のため、今後とも迅速な対応に努めてまいります。地域の身近な諸問題について、お気軽にご相談下さい。



新たに設置された路面表記と街灯